

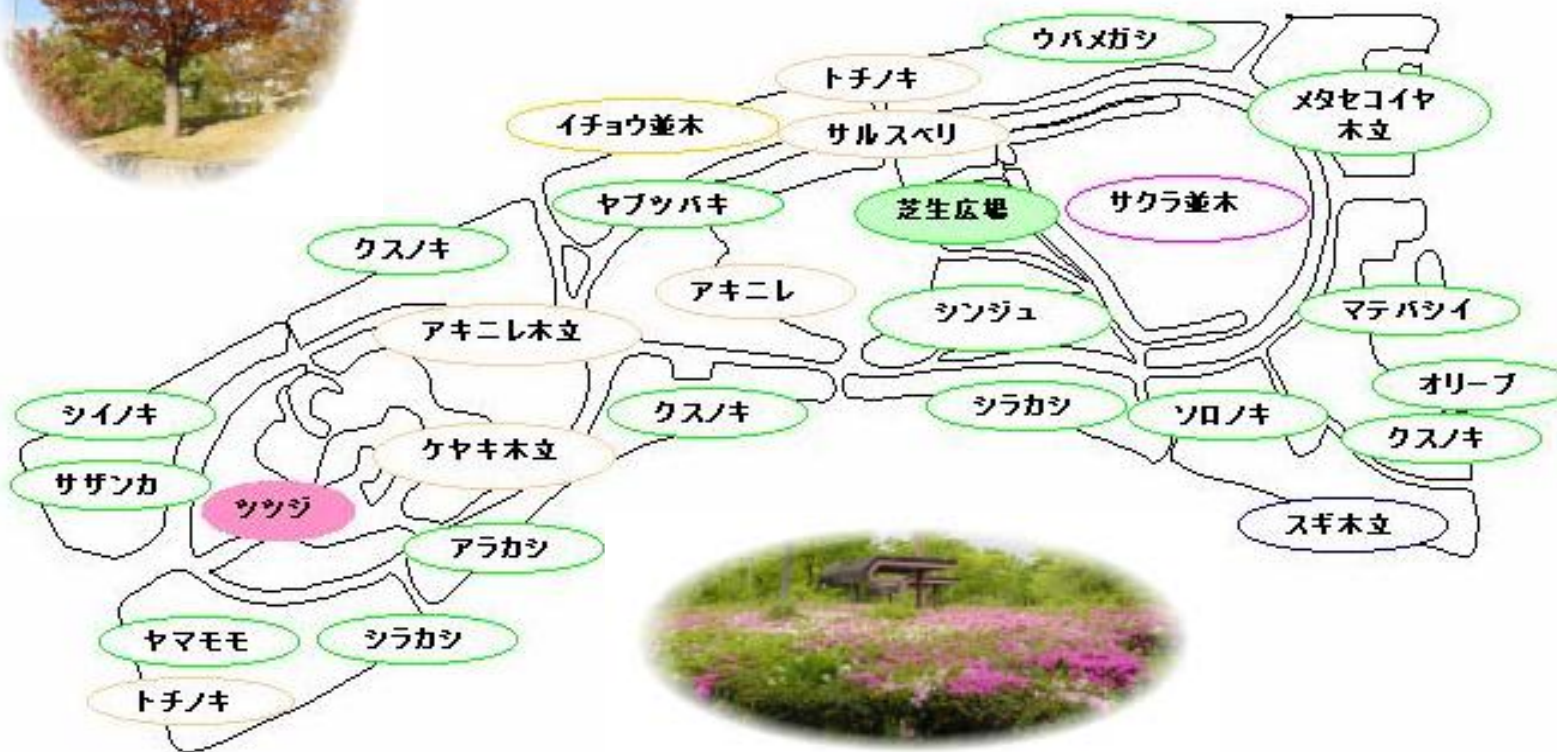


# 滝ヶ谷公園ニュース第7号



## ～ 滝が谷公園の樹木 特集 ～

今回は、滝が谷公園の森を形成している樹木の概要と  
手入れの必要性などについてご紹介いたします



2000年秋の現存樹木  
(高さ2m以上)

<b>落葉樹 475本</b>	
アキニレ	108本
イチョウ	40本
エンジュ	31本
ケヤキ	43本
サクラ	77本
サルスベリ	20本
トチノキ	29本
ニセアカシア	30本
<b>常緑樹 431本</b>	
アラカシ	48本
ウバメガシ	49本
オリーブ	6本
クスノキ	68本
クロガネモチ	13本
シイノキ	15本
シラカシ	61本
ネズミモチ	14本
マテバシイ	31本
モッコク	16本
ヤブツバキ	21本
ヤマモモ	31本
<b>針葉樹 157本</b>	
イヌマキ	30本
カイツカ	15本
スギ	65本
メタセコイア	29本
<b>合計</b>	<b>1063本</b>

## 20年を経て憩いの森に成長

滝が谷公園が造成された1981年当時の神戸市「公園台帳」によると、高木1313本、中木882本、合計2200本を植えたとあります。これに対し、2000年秋に美しくし隊が行った樹木調査では、高さ2m以上の樹木合計1063本の現存を確認し、20年の間に樹木の数は約半分に減った計算になります。

しかし、この間に残った樹木は大きく茂り、神の谷地区のみならず市内全域を見ても人工公園としては稀有な規模を有する”まちの森”に成長しました。

植栽は決して多彩ではないものの、春のサクラ並木、夏のサルスベリ、秋のアキニレ、ケヤキ、イチョウの紅葉など、訪れる人々の目を楽しませてくれます。また、近くに総合運動公園、太山寺などがあるせいか小鳥のみならず、トンビなども訪れます。

1983年

同じ場所です！

2002年



## まちの里山として手入れが必要

宅地の中にあって貴重な緑陰を提供してくれる滝が谷公園の森ですが、放っておくと枝が繁茂、密生し、樹木や下草の生長を妨げる他、見通しが悪くなり治安上も問題があります。

こうした樹木の手入れは神戸市だけではなかなか手が回りませんので、美しくし隊では次のような公園の森の手入れを行っています。

樹木の下枝刈り

枯木の除去と新たな樹木の植栽

枯葉の堆肥化とサクラなどへの追肥

この20年間こうした手入れがほとんど行われていませんでしたので、まだまだ不十分な点もありますが、少しずつ「華のある森」に変えていきたいものです。これからもみなさんのご理解とご協力をお願いいたします。



## 刈り取った下枝の山

樹木1000本相手なので下枝だけでもトラック数台分になります。少しの間見苦しくなりますが、スママセン

### 滝ヶ谷公園ニュース 第7号

発行日：2002年 12月 22日 （季刊年4回発行）

発行人：公園美緑化ボランティア 滝ヶ谷公園を美しくし隊

代表連絡先：川村（神の谷3-5-20, kawatake@portnet.ne.jp）

ホームページ：

[www.portnet.ne.jp/~kawatake/TTN.htm](http://www.portnet.ne.jp/~kawatake/TTN.htm)